

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 あのね		
○保護者評価実施期間	令和7年1月1日		令和7年1月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		令和7年1月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6件
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育園経験の保育士さんにより、5領域に対しての保育、療育等遊びや活動の幅が広く、沢山の知識の中で子ども達ののびのびと楽しく活動できるよう工夫されていること。	特に意識的に行っている取り組みとしては外遊び、外活動で自然体験を多く取り入れている事。なかなか日頃できない体験や初めての体験等、五感をフルに使う療育を行っている	年長組に対して、基本的に読み、書き、計算等学習を個別にできるよう工夫しながら好きになること、集中できるようになる事を中心に楽しみながら個別支援ができるようさらに充実させていきたい。
2	法人内に多種多様な職種を持っている職員が豊富であり、困った時にすぐに相談できる環境にあること	保護者からの相談等に対しても心理師等も含めて相談を受けたり、必要であれば検査等も行って次のステージへのステップとしている	学校に行ってさらに集中しながら運動や学習、お友達とのコミュニケーションが図れるように年長組さんには個別相談会等を設けていきたい
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1		人材確保が課題。原因としては給料、手当等、保育園よりも低く人材が保育園等に行ってしまうことが要因である。	処遇改善等を取り入れながら、人材確保、安定した人員確保ができるよう工夫していく必要がある。
2			
3			